

制度設計と実績額の比較 (生ごみ資源化処理施設)

(単位：千円)

内訳	当初契約見積額	実績額	差額
機械設備工事	180,900	260,779	79,879
土木建築工事	175,000	124,943	▲ 50,057
その他工事費	7,500		▲ 7,500
直接工事費計	363,400	385,722	22,322
共通仮設費	9,605	13,491	3,886
現場管理費	18,635	18,155	▲ 480
備品費		5,780	5,780
一般管理費	44,844	38,639	▲ 6,205
間接工事費計	73,084	76,065	2,981
工事費合計	436,484	461,787	25,303
消費税	43,648	46,179	2,530
工事費総計	480,132	507,966	27,833

土木建築費（仮設工事・コンクリート工事・屋根・壁工事等）は当初見積時より低く抑えることができた一方、脱臭集塵設備（水洗浄塔・薬液洗浄塔・脱臭ファン等）の機械設備に係る経費が当初見積時より高くなったことにより生ごみ資源化処理施設の整備費が増加したと考えられる。

【参考】

主な工事内容

(単位：千円)

●機械設備工事（脱臭・集塵設備）

水洗浄塔	22,500
薬液洗浄塔	33,750
脱臭ファン	21,320

●土木建設工事

直接仮設工事	15,015
コンクリート工事	12,836
屋根・壁・庇工事	18,607